中部　日本みつばちの会

http://mitubati.main.jp/

第7回総会

2017/02/18
名古屋市農業センターにて
デラファーム

アカリンダニで始まりアカリンダニで終わった１年でした。全国的にはニホンミツバチは減っていないとの話ありますが中部地区では、自然巣群の消滅が多く、分蜂捕獲は、L-メントール対策した飼育群からがほぼ全てでした。当会としては、ニホンミツバチを保護し、飼育し、増加を目的に更に活動していく。

総会内容

- 場所　名古屋市農業センタ−（平針）
- 日時　平成29年2月18日(土)9:00～12:00
  （時間のある方は、自前にて昼食）
- 議題

総会　１部　２８期　活動、会計報告等
　　２部　２９期　活動案、予算案、　役員承認
　　班連絡名簿の改正案他

他情報　蜂児出の原因・西洋蜂からの防御、斡旋養蜂具等
　　ミツバチサミット寄付依頼　　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ紹介と意見

会員50名中　　参加者は　　約42名

1. 28年度活動報告

活動内容	日付	場所と内容	担当	参加者
第6回総会	2/21（土）	農業センター	役員	31名
ﾆﾎﾝﾐﾂﾊﾞﾁの見学	4/8	日本在来種ミツバチの会依頼で当会のミツバチを The london honeyのﾊﾝﾅ見学	住田・長尾・酒井・ 加藤他	8名
蜂蜜比べイベント参加	5月5日	白鳥公園で西洋蜂とﾆﾎﾝﾊﾞﾁの味比べ	住田	5名
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	6月	外国向け英文を乗せる	西野	
新人採蜜会	6/7	酒井家、群で採蜜会　金陵辺の植え替え（中西）	酒井採蜜	6名
第12回 おしゃべり情報交換会	10/18（日） 9:00～12:00	会事務所のあるﾄﾐﾀｸﾞﾘｰさんの庭にて開催 採蜜後バーベキューを食べながら。	担当　G連絡員 写真：浜田	35名
矢作川研究所	周年	豊田市周辺の飼育・採蜜会への協力	住田・望月	
下條村やまみつ愛好 会勉強会	偶数月　8日	長野県下條村　高島主催 4、6、8、10、12、月	担当　望月	6･8月延 6名参加
養蜂具各種の販売	周年	巣箱・ｽﾑｼ駆除剤・ﾒﾝﾄｰﾙ・陵辺・他	伊藤三郎、竹口、 加藤木工、望月	
市街地分蜂の保護	周年	（西洋ﾐﾂﾊﾞﾁ：５群、ﾆﾎﾝﾐﾂﾊﾞﾁ：０群）	望月、竹口	
飼育ホロー	周年	養蜂ｱｼｽﾄ・情報交換会、総会等	住田、早川、竹口・ 望月他	
その他情報の発信	適時	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ書換え・ﾐﾂﾊﾞﾁ飼育情報・ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ・ﾒｰﾙにて	西野・望月	

4. 29年度活動案

No	内　　容	時　期	担　当	備　考
1	総　　会	2月18日	代表・役員	会の推進
2	分蜂配布（余剰分蜂の処分）	4月～5月末	会員全体他	余剰分蜂希望者は申告
3	重箱式公開採蜜の実施	ー	早川	新人用に必要か
4	①金陵辺の管理勉強会(中西)	6月事務所	望月	講師は中西さん
5	②下條やまみつ愛好会飼育勉強会参加	8月下條村	望月	高島洋一
6	③はちみつ即売会	10月事務所	（別途具体化）	酒井家駐車場
7	情報交換会、バーベキュ	10月	役　員	会費　500円
8	冬場の疎開移動(脱糞対策)	12月～3月	各自	住宅地以外の里山等へ
9	養蜂具斡旋	周年	伊藤三、竹口、中西、加藤木工、望月他	巣箱、メントール、送風器金陵辺、B401　他等
10	ﾐﾂﾊﾞﾁｻﾐｯﾄ（筑波にて）	11月	望月	中部ニホンミツバチの会の保護、増やす活動について発表？

その他　情報

【ミツバチサミット2017】→寄付依頼

ミツバチサミットは11/11～12に筑波大学会館で行われる。

☆中部　日本みつばちの会として総会で募り
　　２６,３５０円の寄付が集まりました。

【当会のﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ紹介】　（広報　西野さん）

ＨＰは、月4,000回のｱｸｾｽがあり活用されている。
今後は、更に充実させニホンミツバチを多くの人にＰＲし
保護に役立てていく。

第7回総会の添付資料

蜂児だし原因について

20170218　　望月建彦

　蜂児捨ての現象は、よく見られるが正確な原因については不明です。今後、原因をつかむためには検体を採取して分析に出すことが必要です。

異常、蜂児だし10匹以上の場合は、20検体ほど冷凍保存し望月まで報告下さい。（筑波：前田太郎先生に農薬の分析依頼をする）

　現状の考えられる要因としては病気、農薬、蜜だめ優先、ｽﾑｼ等ですが解析して対応する。

蜂児出しの考えられる要因

1.農薬の散布

　農薬、除草剤、ｱﾘｺﾛﾘ等は蜂児出しと働き蜂も死ぬ

2.病気（ｻﾞｯｸﾌﾞﾙｰﾄﾞ、ﾉｾﾞﾏ等）

　ウイルスが要因で、症状は軽く対処は紫外線照射等

3.育児調整

　蜜だめを優先すると蜂児を捨てる？

4.気温の低下

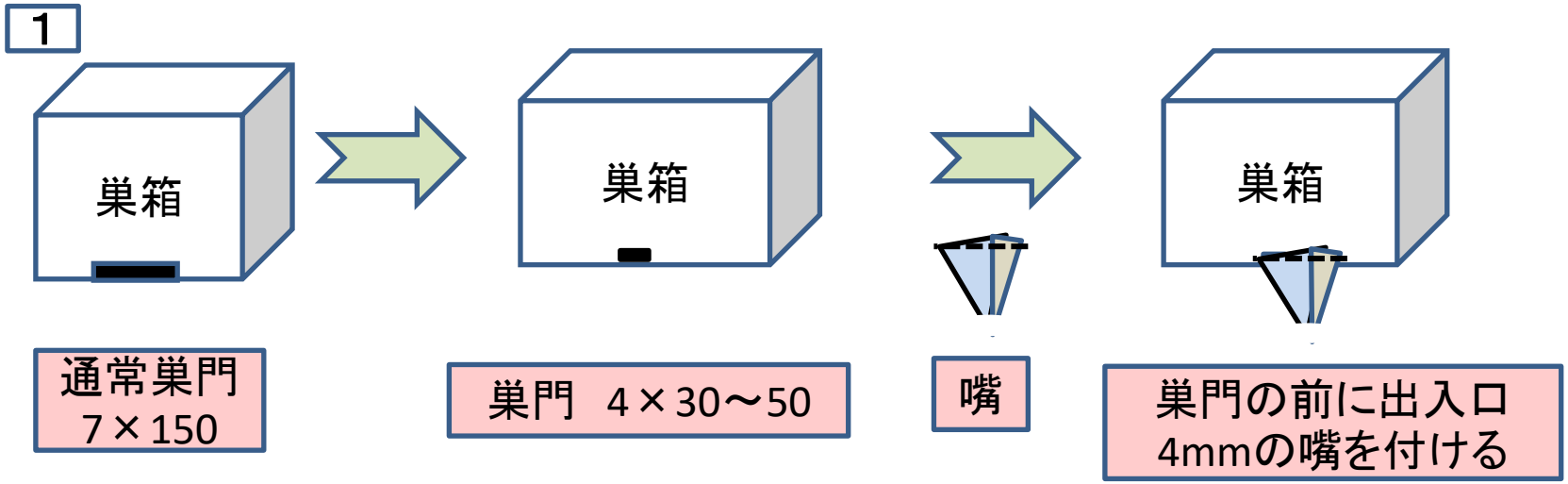
秋口は外気温5℃以下になると巣の縁の蜂児は低温で死ぬため蜂児出しが起きる。

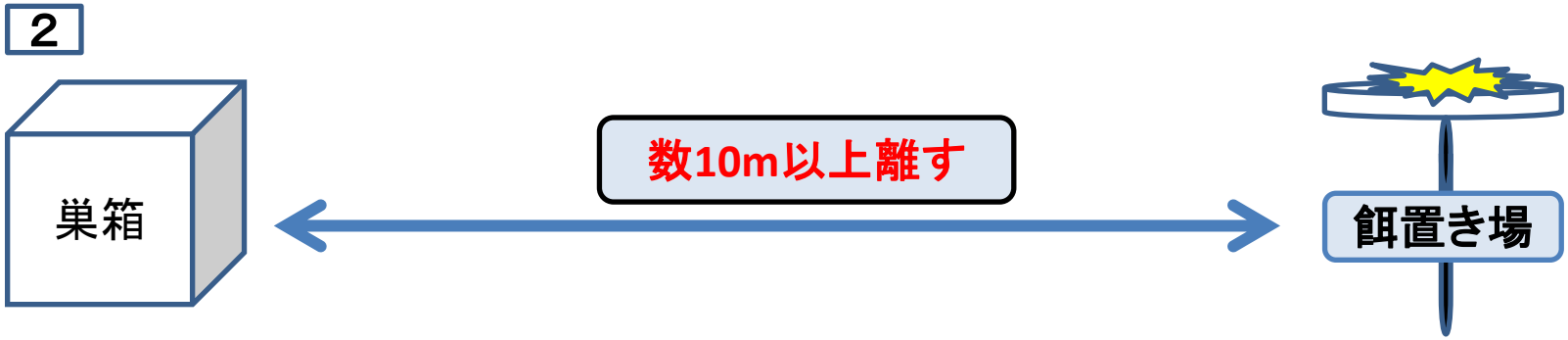
西洋蜂の盗蜜対策

ここ数年、洋蜂がニホンミツバチの巣箱に入り集団で盗蜜をする例が5件程あり。この対応策を検討した

1.巣門を1/3と狭く嘴を付け、ﾆﾎﾝﾐﾂﾊﾞﾁが守りやすくする。
2.ﾆﾎﾝﾐﾂﾊﾞﾁの巣箱から数10m以上離しところに絞りカスや50%の砂糖水の餌を与え巣箱に近寄らせない。
3.盗蜜が治まらない時は巣箱を即、移動する。（1km以上）
4.その他、西洋蜂の養蜂者に餌を与える様にお願いする。

西洋蜂の盗蜜対策の図解





分蜂捕獲準備

1. 分蜂期間は3月末～5月末頃（今年は早いかも）
2. 自然巣の分蜂は、ほとんどない為、飼育群で確実に分蜂板で捕獲するのがよい。
3. 捕獲は雄蓋を確認後、約２～３週間で雨上がり後の晴れや雨降り前の晴天時等に分蜂する。分蜂捕獲板に蜂球を作らせ２０～３０分後に霧吹きで水をかけ捕獲、古い巣箱入れはできるだけ優しく。
4. 捕獲した蜂は、その日に元巣から1kmは、離れた静かな薄暗いところに移動するのがよい。（移動しないと巣箱入れした蜂が次の分蜂時に刺激され逃去する。）
5. 分蜂は、約3～4回は起こるので2週間は観察すること。

新蜂へのｱｶﾘﾝﾀﾞﾆ感染理由

- 筑波 坂本佳子先生の試験で成虫にも寄生するが
  特に羽化後　３日までにダニが寄生移動し易い。
- 羽化の匂いに反応してダニが移動する。
- ダニを中足で掻き落（グルーミング）とすが
  西洋蜂よりニホンミツバチは鈍感で掻き落とせ無い
  ため寄生し易い。

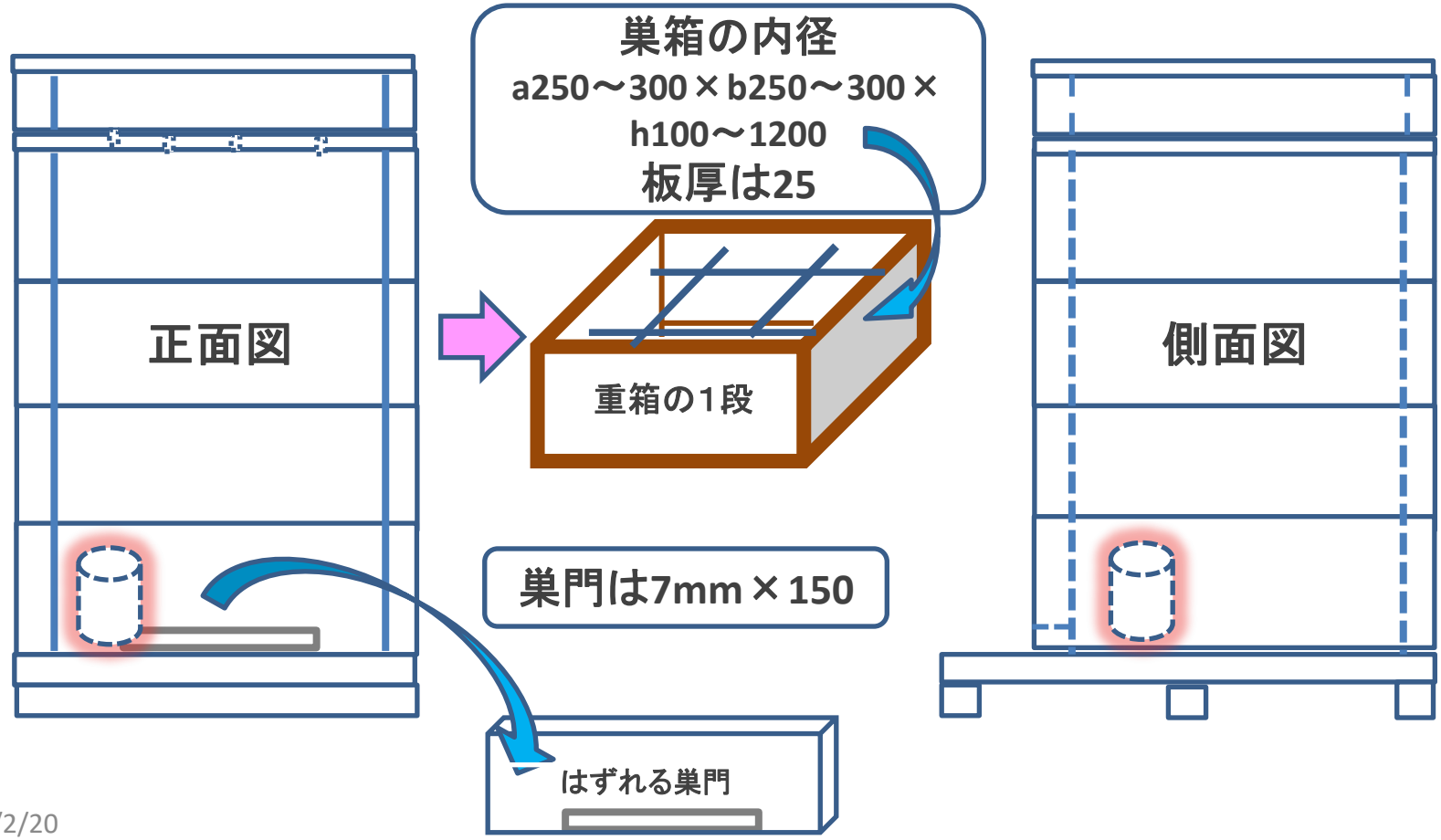
100年前、西洋蜂もｱｶﾘﾝﾀﾞﾆに寄生され群数が減ったが
長年かかって耐性群が生まれ 現状に至る。

アカリンダニ対策

1. 12月～2月期は、ﾒﾝﾄｰﾙ袋のピン留めは巣門を3cm前後に狭くで10～20g入り×3～4袋する。
2. 10度以下は、揮発しにくいので送風器を1ヶ月使用するのが望ましい。（送風機が入る巣門が必要）
3. 夏場は揮発が早いのでﾒﾝﾄｰﾙは5～10gの１袋程度とする。
4. ﾒﾝﾄｰﾙ、ﾁﾓｰﾙ、蟻酸とも同様な効果でダニの完全駆除が難しい。安全に取り扱えるﾒﾝﾄｰﾙを推奨する。
5. チモール、蟻酸は獣医師の処方による使用が必要とのこと。

アカリンダニ駆除用巣箱の設計

送風器が入る巣箱（送風器サイズ a70×b80×h120）



20170216 tatehiko

20170216　ニホンミツバチ
アカリンダニによる群細死

20170220　実践記録
アカリンダニ駆除法法

http://mitubati.main.jp/
中部 日本みつばちの会
20170220　望月建彦

【目的】
ここ数年ニホンミツバチはアカリンダニに感染し絶滅危惧が懸念される。当会では絶滅を防ぐためL-メントールで駆除対策を実施し成果が得られたので紹介します。

【結論】
全国のニホンミツバチは飼育群、自然群ともアカリンダニに感染しています。現状の最良策は重箱内に年間を通じL-メントール処理が必要です
実施しないと間違いなく消滅します。揮発の少ない12～2月のメントールは、必ず巣門を狭く、重箱段数を減らし、秋期には送風器を3週間使用するのが　ダニ感染防止のポイントです。夏場外気が30℃以上ではメントールが一気に揮発し蜂が窒息するので使用に注意が必要です。

【アカリンダニ感染症状】

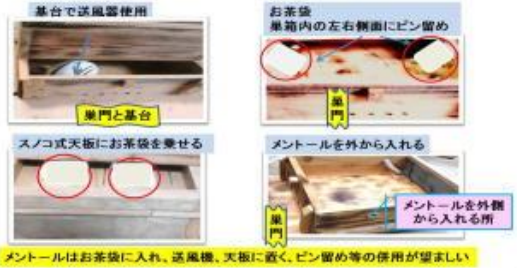
①巣門外廻りタール糞

②下羽根異常(Kウイング)

③主に秋口～春に徘徊

④解剖で気管支が黒い

重箱でのL-メントール使用法



メントールはお茶袋に入れ、送風機、天板に近く、ピン留め等の併用が望ましい

中部日本みつばちの会
L-メントール効果実績について

メントール処理有無	ニホンミツバチ生存群数		生存率
	2015年10月	2016年04月	%
無し	28	3	11
有り	108	72	67

【まとめ】
①L-メントールはアカリンダニ駆除に効果あり。
②生存率が100%にならないのは、そのやり方（送風器か、ピン留めか、年中か　時々か）、巣箱を置く環境、巣箱の仕組み（重箱が良い）で差があります。

アカリンダニ駆除年間計画

中部地区でのアカリンダニ駆除の重箱でのメントール使用例。

項目／月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1981-2010名古屋の平均気温℃	4.5	5.2	8.7	14.4	18.9	22.7	26.4	27.8	24.1	18.1	12.2	7.0
巣箱内でのダニ増殖	多	多	多	少	少	少	-	-	少	少	多	多
巣箱内下段のメントールピン止め量(g)	15	15	10	10	5	5	5	5	5	5	15	15
メントール送風機使用時期	送風機	送風機										送風機

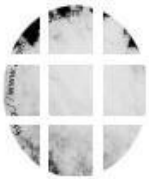
巣内は外気温度より5～10℃高く高湿度
最適な増殖温度２０～３０℃、湿度６０～８０％
冬場はピン留め2カ所以上
冬場は巣門を狭くする
（外気温が5℃以下の12月～2月期は送風機が必須で特に2月中は実施する）

【Lメントール使用の注意事項】
＊夏場は巣内が43℃以上では瞬間的に気化し蜂が窒息するため5g以下で使用する。
＊新分蜂はLメントールを蜂児部から20cmは放し5g以下でピン留めし慣らす。

【課題点】メントール処理ではアカリンダニを根絶できない為常に使用をし続ける必要がある。　従来からいたと考えられるアカリンダニがなぜここに来てニホンミツバチに猛威を振るっているのか要因は不明です。その原因は農薬か温暖化か　絶滅を防ぐため検討が必要と思います。
女王もダニに感染するため飛べなくて潰れる巣がある。

【指導】
農業生物資源研究所
前田太郎先生

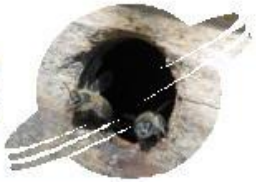
(Lメントール)　はっか臭、融点43℃で揮発しやすい、菓子・歯磨きで使用、空気の約5倍の重さ　お茶袋で使用量　5～30g



送風機：
電池式
ノーマット蚊取り

ニホンミツバチとは

20160630　中部日本みつばちの会　望月建彦



(まえがき)
　日本には現在2種のミツバチがいます。1種類は、日本古来からいるニホンミツバチで黒っぽいのが特徴です。
　もう一種は、西洋ミツバチで明治時代に日本に入ってきた家畜のミツバチです。　通常、皆さんが購入する蜂蜜はこの蜜です。
　ニホンミツバチは,飼うことが難しく自然界では縁の下、屋根裏、木の穴等にいた身近な蜂です。蜜は1年間巣房で熟成した百花蜜を取るためとてもフルーティで味わい深いです。

自然のすみか

ニホンミツバチ

西洋ミツバチ

採蜜花（受粉）

採蜜

分蜂

脱糞

天敵

日本ミツバチの参考書等

NO	タイトル	著者	出　版	価格（税別）	備考
1	家族になったニホンミツバチ	久志冨士雄	高分研	3,000	DVD付き
2	ニホンミツバチ	佐々木正巳	海遊舎	2,800	
3	養蜂作業ノート	富永朝和	八ヶ岳南麓 日本みつばちの会	800	日本ミツバチの 12ヶ月
4	ひとさじのはちみつ	前田京子	ﾏｶﾞｼﾞﾝﾊｳｽ	1,300	蜂蜜の良さ
5	みつばち高校生 富士見高校養蜂部物語		ﾘﾝﾃﾞﾝ舎	@1620	
6	ハチ博士のミツバチコラム	坂本文夫	中京しんぶん	ー	

前田太郎先生ブログ
太陽のしずく　大地の響き　http://beekeeper.seesaa.net/archives/20160204-1.html

中部　日本みつばちの会　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://mitubati.main.jp